

June 10, 2008 Featured Speaker

現代中国における都市基層構造の変化に関する一考察：

北京市を事例として

Speaker

長田洋司

早稲田大学アジア太平洋研究センター助手、アジア太平洋研究科博士課程

私の研究関心は、中国における都市基層社会である。現在の中国社会の変動は目まぐるしいものがある。1978 年から始まった改革開放政策によって外への扉が開かれた中国は、現在、国際社会の一員としてその存在力は巨大である。しかし、我々は同時にその巨大な人口を覆う国内社会に目を向ける必要がある。特に現在の都市部は過渡期を象徴するように様々な変化や問題が噴出しているのである。

Abstract

本報告では、中国の都市部で進んでいる基層構造の変化を見ながら、それを通して現在の基層社会の変容について考察する。中国は、1978 年の改革開放政策のスタート以来、様々な社会問題が発生した。そして、その最も大きな変化は、単位体制の崩壊であろう。そうした状況の中、中国政府は 2000 年から正式に「社区建設」という基層構造の改革を始めたのである。こうして、中国の基層管理体制が単位体制から社区体制へと転換したのである。

報告では、先ず、「社区建設」によって形成されている中国の新しい基層管理体制の構造について説明する。そして、改革開放以降の社会変動に伴って引き起こされた都市居住空間の多様化と住民が各自の利益を獲得、維持するためのツールの多様化について考察する。

Commentator

TBA



日時 : 2008 年 6 月 10 日(火) 17:00~19:00
Date : Tuesday June 10th 17:00~19:00
会場 : 西早稲田 ビル 19 号館 314 号室
Venue : Sodai-Nishiwaseda Bldg 19 Room 314

主催 / Organized by : WUDSN 協力 / Supported by : GIARI
申込不要、自由入場 / Open to public, Free of charge

<http://www.waseda-giari.jp/jpn/wudsn/>